

全国学力・学習状況調査の結果について

○全国学力・学習状況調査とは…

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
 - ・学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

今までの授業がよかったのか悪かったのか、客観的に検証し、次の授業を工夫することが目的

本年度は、「教科に関する調査（国語・数学・英語の3教科）」および「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」を令和5年4月18日に中学3年生を対象として実施し、全国および福井県、本校の調査結果が発表されました。結果は右のようになりました。

3教科とも全国との比較においては、ほぼ平均並の結果でしたが、福井県内の公立学校との比較では、平均を下回る結果となりました。また、基礎・基本的な問題については、おおむね平均以上の正答率でしたが、「説明する」「要約する」など目的に合わせた内容を記述する問いや「内容の理解」について読み取ることができているかという問いには、どの教科についても課題があることが分かりました。

	国語	数学	英語
足羽中学校	67.8% (-2.0)	52.2% (+1.2)	45.5% (-0.1)
福井県	73%	55%	48%
全国	69.8%	51.0%	45.6%

※()内は全国平均との比較

(1)国語

「良好」であること…国語の基本的なルールは理解できています

- 事象や行為、心情を表す語句について理解している。(本校 92.5% 県 91.6% 全国 91.1%)
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。(本校 83.6.% 県 87.3% 全国 82.5%)

「課題」であること…目的に沿って読んだり書いたりすることが苦手です

○文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができている。

(本校 65.7% 県 75.2% 全国 74.2%)

☆具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(本校 56.7% 県 64.8% 全国 61.8%)

【☆の問題文】

山田さんは「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで2つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として適切なものを(ア)から(オ)までの中から1つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

ただ文章を読むのではなく、「目的に従い文章を読む力」が問われています。また、「読んだ内容をわかりやすく伝える力」も問われています。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

(ア)ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】サルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぜやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見るることができる。

